

(その2)

特殊詐欺被害等の情報（件数・被害額は「速報値」）

特殊詐欺被害等の認知状況（令和6年12月31日現在）

①件数	48件	前年同期比+13件
②被害額	12,084万円	前年同期比+8,538万円
③サギ電話	554件	前年同期比+106件

令和6年12月に認知した特殊詐欺の手口

手口分類	手口の内容
NTT職員 警察官騙り オレオレその他	(1) 12月上旬頃、被害者の携帯電話にNTTファイナンスウェブリソクサービスを騙る男から「未納料金があり、延滞料金と民事裁判費用、弁護士費用などで29万5千円になる。」「国の制度で95パーセント返金される」等と言われ、被疑者が指定した口座に29万5千円を振込んだもの。 (2) 12月上旬頃、被害者の携帯電話に警察官を騙る男から「茨城で起きた詐欺事件の捜査対象なので茨城に来て下さい」「これないのであれば在宅で資金調査を行い、身の潔白を晴らせば逮捕されない」等言われ、被疑者の指定する場所に600万円を振り込んだもの。 (3) 12月中旬頃、被害者方固定電話に、息子を騙る男から「税金を払えない。」「今日中に払わないと逮捕されてしまう。母さん幾らある？」等と言われ、自宅玄関先で現金200万円を手渡したもの。

(その3)

12月中の街頭犯罪・特殊詐欺にみる傾向と防犯ポイント

① 街頭犯罪

【自転車盗】

12月の発生は、駅周辺である草薙交番・相生交番・桜橋交番で6件発生しています。駅駐輪場や駅周辺での発生が多く、施錠無4件、施錠有2件の被害となります。

【オートバイ盗】

12月の発生は、アパートの共用駐輪場でキー無の原付バイク1件となります。

【車上ねらい】

12月の発生は、バイクの籠に置いたままのバックが持ち去られる被害1件となります。

【万引き】

ドラックストア2件、スーパー3件、コンビニエンスストア1件

【強盗未遂】～参考～

郵便局で強盗未遂事案が発生しましたが、局員によるカラーボール使用や防犯カメラの活用などにより早期検挙となりました。

② 特殊詐欺と投資ロマンス詐欺

【被害状況】

●本年の特殊詐欺認知件数は、清水警察署管内で48件、被害額1億2,084万円の県下ワースト1という状況でした。

12月に入ってからの特徴として、自宅電話に加え、携帯電話から架電される被害が増えています。被害年齢については、30～50歳代の方の被害が見受けられるので、家族内での情報共有を、お願いします。

●本年の投資・ロマンス詐欺認知件数は、清水警察署管内で12件、被害額9,006万円です。前年比:認知件数+9件、被害額+1,254万円と昨年から増加傾向にあります。

《電話機対策の推進について》

特殊詐欺の被害防止には、「犯人からの電話を受けないこと」が重要です。詐欺電話をかけてくる被疑者は、「留守番電話設定」や「防犯機能付き電話」の場合には、直ぐに電話を切ることが多いです。

NTTでは、70歳以上の家族がいる一般家庭世帯の回線を対象としたナンバーディスプレイ及びナンバーリクエストを無償化する取り組みを継続実施中ですので、この取り組みを利用するよう広報願います。